

S U P E R  
FORMULA

# STAGE

superformula.net/sf2

2018 Vol.04

## INDEX

- 2018 出場ドライバー紹介 ②③
- 今大会の見どころ ②
- 松田次生が語るコースガイド ③
- SHORT INTERVIEW ④
- チーム探訪 ここがうちの自慢です! ④
- インフォメーション ④

Published JAPAN RACE PROMOTION, INC.  
2-3-25 Kudan-minami Chiyoda-ku Tokyo

本紙への広告掲載のお問い合わせは—  
株式会社 日本レースプロモーション  
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25  
☎03-3237-0131  
<https://superformula.net/sf2>

JRP  
JAPAN RACE PROMOTION  
INC.

## INTERVIEW NO.4

### carrozzeria Team KCMG ドライバー 小林可夢偉

Kamui KOBAYASHI #18

『小林可夢偉』。一度聞いたら忘れないような“珍しい名前”だが、その名は本人が中学生の時代からレースの世界で囁かれていた。「レーシングカート界に神童がいる」。カート雑誌ではなく、4輪レースの専門誌に異例の特集記事が掲載されるほど注目される逸材だった。

その才能を早くから認めたのは、まだ開校間もないFTRS（フォーミュラトヨタ・レーシングスクール）。可夢偉自身は、「フォーミュラカーに乗れるから」という軽い気持ちで参加したが、第2期生として合格。まだ15歳だったため、限定Aライセンスも取得することができなかった。ようやくライセンスを取得すると、スポット参戦という形でフォーミュラトヨタにデビュー。翌2003年にはFTRS第3期生の中嶋一貴と激しいチャンピオン争いを繰り広げ、ランキング2位となった。

翌年、当時あったトヨタの欧州での若手ドライバー育成プログラムTDA（トヨタ・ドライバーズ・アカデミー）メンバーに選抜され、フォーミュラ・ルノー・イタリアシリーズ、2005年にはユーロシリーズにも参戦し、両タイトルを獲得。F3ユーロシリーズ時代の2007年には、トヨタF1のサードドライバーに抜擢される。2008年にはF1直下のGP2アジア・シリーズで日本人初のタイトル獲得。“夢はF1チャンピオン”。その希望に向けて、時は刻々と近づいているように見えた。

だが可夢偉が22歳になった2日後、運命は急激に逆回転を始める。米国でリーマン・ショックが発生。それを機に、まずホンダが即座にF1から撤退を発表する。翌2009年にはトヨタにもその

影が落ちた。本業の業績悪化、連結決算で59年ぶりという赤字計上。10月に鈴鹿で行われたF1日本GPで、可夢偉は“体調不良”のレギュラードライバー、ティモ・グロックに代わってフリー走行に登場。次のブラジルGPでは、鈴鹿の予選で負傷したグロックに代わり、正式デビューを果たす。だが同時に、これこそ噂されていた“トヨタF1撤退”が事実であることを印象付けた。まるで可夢偉への餞別だったからだ。

可夢偉は与えられたそのチャンスで、自分の存在感を最大限に見せつける。最終戦アブダビGPでは2レース目にして、ポイントを獲得する偉業を達成。だがそのわずか3日後、トヨタはF1からの撤退を発表した。

翌2010年からの3年間、可夢偉はザウバーからF1に参戦。2012年の日本GPでは、鈴木亜久里、佐藤琢磨に次ぐ日本人3人目の3位表彰台を得た。ところがこの年いっばいでザウバーのシートを失いF1を離れることになる。2013年にはフェラーリと契約し、WEC（世界耐久選手権）のGTE-

Proクラスに参戦したがF1への夢は断ちがたかった。そして2014年にはケータハムと契約しF1に復帰を果たす。だがチームの運営状態は不安定で、可夢偉のF1キャリアもこの年限りで終了する。

「ドライバーとしてはたくさんレースをしないとダメだ」と気持ちを切り替えた可夢偉は、自分を育ててくれたトヨタの勧めもあり、2015年からスーパーフォーミュラに参戦を開始。翌2016年からは、WECにもトヨタから参戦を開始した。今年はそれに加え、スーパーGTにも参戦し、忙しい日々を送っている。スーパーフォーミュラでは、「国内サーキットでものすごく走り込んでいる人たちを相手に戦わなくてはならないので大変ですよ」という中で2年間、チームルマンで走ったものの、なかなか歯車が噛み合わなかった。

そして昨年、「チームを強く育てて欲しい」という希望もあってKCMGに移籍。移籍初年度のもてぎでブッチぎりの速さを見せ、今季も前戦のSUGOでトップを快走して見せた。残念ながらピット作業のミスなどがあり、ここまで優勝こそ

できていないが速さは充分に見せつけている。「色々なカテゴリーに乗ることで、昔よりも乗り方の幅が広がったと思います。タイヤのことも以前より分かっているし、もし今F1に乗ったら、当時とは違う走りができるんじゃないかと思う。だから、今でも乗れと言われたら乗りますよ」と可夢偉は言う。

その一方、WECでも、スーパーフォーミュラでも、スーパーGTでも、出場する限り、臨む気持ちはF1と同じ。“勝ちたい”、“チャンピオンを獲りたい”という欲求は変わらない。「もちろんどのレースでも勝ちたいですよ。でも、ドライバーの力だけでは勝てないのもレース。運とか巡り合わせとか、そういうものも必要なんです」。

彼が所属するKCMGはトップチームと比べれば規模も予算も少ない。だが可夢偉の速さは充分に承知している。SUGOでのミスの後、休みの日にもピット作業の練習を繰り返している彼らが、今年可夢偉を表彰台の一角まで押し上げられるのか。そろそろ歯車が噛み合う場面を見たい。

協力: carrozzeria Team KCMG

Series Partner **HONDA TOYOTA**

Series Supporter **YOKOHAMA**

Promotion Partner **HITACHI**  
Inspire the Next  
日立オートモティブシステムズ

**SONY**  
RX0

**人気が酒造**

Broadcasting Partner

**BSフジ**

**J SPORTS**

# 2018 ENTRY LIST

全日本スーパーフォーミュラ選手権 エントリーリスト

Twitter Facebook Instagram ★は今季スーパーフォーミュラ初参戦

## JMS P.MU/CERUMO・INGING

ジェームス ピーエムコーセルモインギング

### 1 石浦宏明

Hiroaki ISHIURA  
1981年4月23日生 / 東京都



JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14

RANKING 7 POINTS 5

昨シーズンのチャンピオン。2年ぶり2度目の王者となった。昨年の第3戦では現役最年長の36歳で優勝を達成と、円熟の域に達している。



<https://ameblo.jp/ishiura/>

### 2 国本雄資

Yuji KUNIMOTO  
1990年9月12日生 / 神奈川県



JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14

RANKING - POINTS 0

2016年に初優勝を含む2勝を挙げて王座に就いた現役では最年少のチャンピオン。昨年は第3戦富士で初のポールポジションを獲得した。



<http://yujikunimoto.com>

## KONDO RACING

コンドーレーシング

### 3 ニック・キャシディ

Nick CASSIDY  
1994年8月19日生 / ニュージーランド



ORIENTALBIO KONDO SF14

RANKING 2 POINTS 10

昨年スーパーフォーミュラにデビューし、初ポールポジションを獲得したSUGOで、今季は2位入賞を果たした。自身、初優勝となるが注目だ。



<https://twitter.com/nickcassidy>

### 4 山下健太

Kenta YAMASHITA  
1995年8月3日生 / 千葉県



ORIENTALBIO KONDO SF14

RANKING 12 POINTS 1

2016年に全日本F3チャンピオンとなり、昨年スーパーフォーミュラに進級。3度の入賞を果たし、第4戦もてぎではポールポジションを獲得した。



<http://kentayamashita.jp>

## DOCOMO TEAM DANDELION RACING

ドコモチームダンディライアンレーシング

### 5 野尻智紀

Tomoki NOJIRI  
1989年9月15日生 / 茨城県



DOCOMO DANDELION M55 SF14

RANKING 3 POINTS 9

2014年にデビュー。その年のSUGO大会で初優勝を果たし、一躍注目の存在に。今季は第3戦SUGOでポールポジション獲得と速さは一級だ。



[https://twitter.com/tomoki\\_nojiri](https://twitter.com/tomoki_nojiri)

### 6 松下信治

Nobuharu MATSUSHITA  
1993年10月13日生 / 埼玉県



DOCOMO DANDELION M6Y SF14

RANKING - POINTS 0

2015年からF1直下のGP2（17年にF2と改称）で活動。今シーズン、スーパーフォーミュラにデビューした期待の若手で、その実力が注目される。



<https://www.nobuharu.com>

## UOMO SUNOCO TEAM LEMANS

ウオモスノコチームルマン

### 7 トム・ディルマン

Tom DILLMANN  
1989年4月6日生 / フランス



UOMO SUNOCO SF14

RANKING 6 POINTS 5

負傷したレギュラードライバーのピエトロ・フィッティパルディに代わり3戦連続の出場。今季は世界耐久選手権とフォーミュラEに参戦。



<https://www.facebook.com/tomdillmannofficial/>

### 8 大嶋和也

Kazuya OSHIMA  
1987年4月30日生 / 群馬県



UOMO SUNOCO SF14

RANKING - POINTS 0

昨年、古巣となるチームルマンから5年ぶりにスーパーフォーミュラに復帰。第5戦オートポリスで3位入賞と、名門チーム復活に全力で挑む。



[https://twitter.com/oshima\\_kazuya](https://twitter.com/oshima_kazuya)

## TEAM MUGEN

チーム・ムゲン

### 15 ダニエル・ティクトゥム

Daniel Ticktum  
1999年6月8日生 / イギリス



TEAM MUGEN SF14

RANKING - POINTS 0

レッドブル・ジュニアチームに所属。昨年のマカオGP覇者で今季はヨーロッパF3に参戦。F2に出場するレギュラードライバー・福住仁嶺に代わり再出場。



<https://danticktum.com/>

### ここに注目!

#### 第4戦 富士スピードウェイの見どころ

#### 各車のタイム差が少ない富士で誰が抜け出すか

5月下旬の宮城県はスポーツランドSUGOでの第3戦から1カ月半。富士スピードウェイでの第4戦は夏場に入ってから初戦、またシリーズの折り返しとなる大事な1戦となる。

参加するチームや多くのドライバーは3月下旬に富士で行われた合同テストに参加しており、その時のデータの蓄積はある。だが、今回は夏場ということで当然ながらコンディションは全く違ってくる。例年であればまだ梅雨明け前だが、今年は全体に雨が少なめ。6月下旬にはまるで「梅雨明け」を思わせる好天となり、気温も30℃を超えた。この週末もかなりの暑さとなるかも知れない。

その富士は世界でも稀な長いメインストレートが特徴となるコース。それにプラスして、1コーナー立ち上がりからの高速コーナー区間、ダンロ

ップコーナーから最終コーナーにかけて低速コーナーが続くテクニカル区間と、様々な要素が盛り込まれている。ドライバーにとっては前半と後半でリズムを切り替えることが要求され、クルマのセットアップもメカニカルグリップと空力のバランスを取るのが難しいと言われていた。長いストレートがある分、直線スピードはできる限りアップしたい。そのためにダウンフォースはギリギリまで削りたいが、高速区間を速く走ろうと思えばある程度のダウンフォースは必要。また、低速区間でも十分なメカニカルグリップを得ることが大切になってくる。そのバランスをどのように上手く取るのがポイントだ。同時に、テストの時とはコンディションが違う分、それに合わせたクルマのセットアップを見つけ出すことも要求される。

更に、富士は各車のタイム差が出にくいことで有名。スーパーフォーミュラでは、1秒の中に全19台が入ってしまうことも珍しくない。しかも予選タイムアタックの際には、100分の数秒差、1000分の数秒差という僅差になることもしばしば。その分、ノックアウト予選は他のサーキット以上に緊張感が溢れるものとなる。コックピットに表示されるタイムを見て、「これでQ1突破だ」とか「ポールポジション獲得だ」とすぐに確信できる選手はいないだろう。

しかも、予選ポジションだけでレース結果を予測できないのが富士のもうひとつの特徴。近年はオーバーテイクシステムがあり、それを防御に使用するドライバーも多くなったため、かつてほどはポジションの入れ替わりもなくなったが、長いストレートの効果で富士はやはり追い越しが可能。特に、今回富士では初めて2スペックタイヤ制となるため、その時に履いているタイヤがメディア

ムなのかソフトなのか、何周ぐらい使ったのかによって、各車のグリップレベルに違いが生じてくる。それが見応えのあるバトルを生み出すはずだ。

そんな富士で勝利の美酒を味わうのは誰か。ここまで決勝が行われた鈴鹿とSUGOでは、山本尚貴が2連勝。シリーズポイント争いで大きくリードしている。これに続くのはニック・キャシディ、野尻智紀、関口雄飛、中嶋一貴らだが、ポイント的にはまさに混戦。山本との差を縮めるためにも、混戦から抜け出すためにも優勝を狙ってくるはず。3月のテストでは、初日に関口がトップ、2日目には野尻が総合トップタイムをマークしているが、その時の好調を維持するのか。また富士を得意としているJMS P.MU/CERUMO・INGINGのチャンピオンナンバーを付ける石浦宏明や国本雄資からも目が離せないだろう。いずれにしても、シーズン後半の行方を占う1戦となるのは間違いのない。

### Team Pit

PORSCHE GT3 CUP																			1	2	16	15	F3	F3	36	37	F3	F3	7	8	19	20	18	F3	3	4	5	6	17	F3	64	65	F3	F3	50	F3	F3	F3	SF19
45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1					
ビットビルB (No.35-45)																			ビットビルA (No.1-34)																														

◀ TGRコーナー

### Starting Grid

自分でGrid表を完成させよう!

2	No.	4	No.	6	No.	8	No.	10	No.	12	No.	14	No.	16	No.	18	No.		
1	No.	3	No.	5	No.	7	No.	9	No.	11	No.	13	No.	15	No.	17	No.	19	No.

# 16 山本尚貴

Naoki YAMAMOTO  
1988年7月11日生 / 栃木県



TEAM MUGEN SF14

RANKING 1 POINTS 21

2013年のチャンピオン。ホンダ勢の中心的存在で、昨年こそ優勝もポールポジションもなかったが、今季は開幕から2連勝と強さを見せている。

<http://www.naoki-yamamoto.com>



## REAL RACING

リアルレーシング

# 17 塚越広大

Koudai TSUKAKOSHI  
1986年11月20日生 / 栃木県



REAL SF14

RANKING 11 POINTS 3

2012年にチャンピオンを争い、惜しくも2位に。翌13年から現チームに移り、今年で6年目のシーズン。チームに初優勝をもたらすことができるか。

<http://www.tsukakoshikoudai.net/>



## carrozzeria Team KCMG

カロツェリア チーム ケーシーエムジー

# 18 小林可夢偉

Kamui KOBAYASHI  
1986年9月13日生 / 兵庫県



KCMG Elyse SF14

RANKING 10 POINTS 3

F1で活躍後、2015年にスーパーフォーミュラへ。昨年は第4戦のもてぎで優勝目前の2位を獲得と、今年こそ初優勝の期待がかかる。

<http://www.kamui-kobayashi.com/>



## ITOCHU ENEX TEAM IMPUL

イトウチュウエネクス チーム インパル

# 19 関口雄飛

Yuhi SEKIGUCHI  
1987年12月29日生 / 東京都



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

RANKING 4 POINTS 8

2016年にスーパーフォーミュラにデビューするなり、その年に2勝し、昨年も2勝とこの2年間で最大の勝利を誇る。目指すは初のチャンピオン獲得だ。

<https://twitter.com/yuhisekiguchi>



# 20 平川 亮

Ryo HIRAKAWA  
1994年3月7日生 / 広島県



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

RANKING 13 POINTS 1

2013年にスーパーフォーミュラにデビュー。16、17年はスポーツカーやGTレースで活躍し、今年3年ぶりに復帰。第2戦で初のポールポジションを獲得した。

<https://twitter.com/ryohirakawa>



## VANTELIN TEAM TOM'S

バンデリン チーム トムス

# 36 中嶋一貴

Kazuki NAKAJIMA  
1985年1月11日生 / 愛知県



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

RANKING 5 POINTS 7

2012、14年のチャンピオン。父はナカジマレーシングの中嶋悟監督で、親子共々F1で活躍した。先日のル・マン24時間レースでは優勝を果たした。

<http://www.kazuki-nakajima.com/>



# 37 ジェームス・ロシター

James ROSSITER  
1983年8月25日生 / イギリス



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

RANKING - POINTS 0

今季2年ぶりにスーパーフォーミュラへ復帰。2013年にデビューした時と同じ強豪チームからの参戦で、タイトル争いに加わるか注目される。

<http://twitter.com/rossiterracing>



## B-Max Racing team

ビーマックス・レーシング・チーム

# 50 千代勝正

Katsumasa CHIYO  
1986年12月9日生 / 東京都



B-Max Racing SF14

RANKING - POINTS 0

今年スーパーフォーミュラにデビュー。これまではGTレースで主に活躍し、ブランパン耐久シリーズでは日本人初のシリーズ王者に輝いている。

<http://www.chiyo-katsumasa.com/>



## TCS NAKAJIMA RACING

ティーシーエス・ナカジマレーシング

# 64 ナレイン・カーティケヤン

Narain KARTHIKEYAN  
1977年1月14日生 / インド



TCS NAKAJIMA RACING SF14

RANKING 8 POINTS 4

2001年にフォーミュラ・ニッポンに参戦。その後F1で戦い、14年から再びスーパーフォーミュラに。今年41歳の現役最年長ドライバーである。

<https://twitter.com/narainracing>



# 65 伊沢拓也

Takuya IZAWA  
1984年6月1日生 / 東京都



TCS NAKAJIMA RACING SF14

RANKING 9 POINTS 4

2012年にタイトル争いを演じ、ランキング3位。14年にはGP2に参戦した。15年から再びスーパーフォーミュラにフル参戦し、今年チームを移籍した。

<http://www.takuya-izawa.com/>



## 松田次生が語る 富士スピードウェイガイド

### ▶ ブレーキングでいかにマシンの態勢を崩さずに走れるか

富士はエスケープゾーンが舗装されており、安全性が確保されているのでドライバーとしては攻めやすいコース。レースでも結構オーバーテイクシーンが見られます。今年初めて2スぺックタイヤ制が採用されるので、どういった戦いになるのかが楽しみです。

その富士のストレートでは、スーパーフォーミュラの場合、315km/hぐらいの最高速が出ています。そこからTGRコーナーでは100km/h以下に落とさなくてはならないんですが、ブレーキングポイントは100mを切るぐらい奥。ここでブレーキング時の安定性がいいクルマを作ることが大切です。ドライバーの腕の差が出るポイントにもなりますね。改修前よりはタイトコーナーになっていますが、立ち上がりからコカ・コーラコーナーまでのスピードを上げなければならないので、小さく回って早くアクセルを踏めるポイントを探すことが重要です。基本はアウト・イン・アウトですね。ただ、ブレーキングで姿勢を崩しやすいので、“もっとイケる”と突っ込み過ぎてしまうと、オーバーシュートして（行き過ぎて）しまいます。

コカ・コーラコーナーは、鈴鹿のデグナー1つ目みたいに、早くクルマの向きを変えていかにスピードを高く保ったまま曲がるかがカギです。突っ込み過ぎるとアクセルを踏むポイントが遅れたり、エイベックス（頂点）のスピードが急激に落ちてしまいます。ライン取りはひとつしかないんですけど、スピードを上げて行くとラインがワイドになってしまうので、スピードをできるだけ高く保ちつつも4輪がラインからはみ出ないようにというのが理想です。

続くトヨペット100Rコーナーは、スーパーフォーミュラの場合、かなりのスピードですし、高い平均スピードを保ちたいんですけど全開では行けないんです。次にヘアピン（アドバンコーナー）があるので、そのアプローチを考えると出口では余りアウトにはらまないとポイント。100R自体は人によって結構ライン取りがまちまちですね。映像で見ても分かりやすいですよ。ヘアピンは100Rでクルマがロールした状態から入るので、ブレーキングが難しい。舵角が残った状態でブレーキングに入るとオーバーシュートしてし

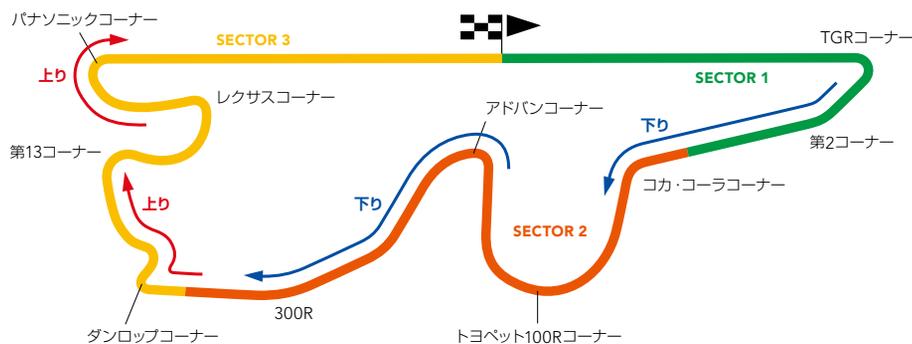
まったり、インにつけないことも……。しっかりと早めにクリップについて、ブレーキで態勢を乱さず300Rに向けて早くアクセルを踏んでいくのが大切。早くインについて、直線的に立ち上がって行く感じです。300Rはドライではストレートのように迷わず全開ですけど、雨だと水溜りができてコーナーになるので注意が必要ですね。

続くダンロップコーナーは2つ目の立ち上がり重視ですが、上りなのでアクセルを踏むポイントがちょっとでも遅れると13コーナーまでの区間のタイムに影響します。13コーナーからは我慢の連続ですね。ブレーキで行き過ぎると態勢を乱してオーバーになりますし、逆にブレーキが手前過ぎるとアンダーになってしまうので、“さじ加減”が必要です。この区間もクルマの仕上がり

具合やドライビングスタイルによって走り方が変わります。アウトから入って行く人と小回りする人として、見ていると面白いですよ。

最終のパナソニックコーナーもライン取りに関しては人によって違いがあります。直線スピードを伸ばすために、いかに早く向きを変えて、アクセルを早く踏むかなので、そのトラクションのかけ方が一番のキーポイントですね。

富士はセルモイニングの村田卓児エンジニアが得意としているので、今回も石浦宏明選手には注目。あと今年はホンダ勢がいいので2連勝中の山本尚貴選手も注目です。また、今季ここまでスーパーフォーミュラでは勝っていないんですけど、ホームコースで結果を出したい中嶋一貴選手や小林可夢偉選手などの走りにも期待ですね。



過去3年の結果 (優勝者 | PP)

2017	石浦宏明 (P.MUCERUMO-INGING SF14)	国本雄資 (P.MUCERUMO-INGING SF14)	2016	J.P.テ・オリベイラ (ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14)	S.バンドーン (DOCOMO DANDELION M415 SF14)	2015	J.P.テ・オリベイラ (LENOVO TEAM IMPUL SF14)	A.カルダレリ (LENOVO TEAM IMPUL SF14)
------	-------------------------------	-------------------------------	------	---	--------------------------------------	------	--------------------------------------	----------------------------------

COURSE DATA

全長: 4.653km

コースレコード: 1'22.572 アンドレ・ロッセラー (PETRONAS TOM'S SF14) 2014.5.17 (2014 SUPER FORMULA 第2戦)

## 千代勝正 (B-Max Racing team)

### 自分の速さ、実力を証明したい

スーパーフォーミュラ参戦までの時間が短く、心の準備ができなかったんです。目指してきたものが急に決まり、びっくりした部分もありました。これまで本当にたくさんの人からの支援を受けてレースを続けてきたのですが、自分ひとりじゃ叶えられない夢を色んな方々に助けてもらってプロになったという思いがあるんです。F3でチャンピオンになったけれど、それでもスーパーフォーミュラには行けず、SUPER GTのGT300や海外のGTレースに出るなど違うカテゴリーに参戦することになって……。それは自分の実力がなかったせいかもしれないけれど、昔から応援してくれている人に対しては、どこかでしっかりさせてし

まっていたと思っていました。

だから参戦が突然決まったときには、僕以上に周りの人が喜んでくれましたね。自分が乗ることで喜んでくれる人がいるというのが、一番の喜びです。それで開幕戦では、レーシングスーツに今までスポンサーしてもらった方々の名前を全部貼って走ったんです。自分が活躍して恩返しすることは、プロとしてあるべき姿だと思います。

### 監督はSUPER GTでのチームメイト

監督の本山哲さんは、SUPER GTのチームメイト。でも違和感も不思議な感じもまったくありません。GTと一緒に組んで今年で3年目。僕自身のいいところも悪いところも認めてくれていて、話す内容も基本GTで会話するのと同じなの

で、すごくやりやすい。監督というよりは、先輩とかおっさんお兄ちゃんという感じですね。よりドライバーに近い立ち位置にいるので、とても心強い。僕にとっての最強のアドバイザーです。

### 今がんばらなくてどうする

GTと違い、やはりスーパーフォーミュラは体力的にハードです。今まで経験してきたことがないようなGもかかります。もちろん体力づくりもしていますが、急な参戦で準備するのに十分な時間もなかったんです。余裕をもってレースをしたいので、もっとペースアップしなければいけないと思います。10年、20年前の自分からしてみれば、スーパーフォーミュラに乗っているなんて贅沢な話なんです。だから、「今、ここでがんばらなくていつがんばるんだ、どうするんだ」と昔の自分から今の自分に多分そう言うと思います。

一方でレース自体はまだわからない部分も多く、正直20%くらいしか消化できていません。ただ走りに関しては、つねに100%攻めの走りはして



います。でも、クルマの部分では知らないことが多すぎて。今はエンジニアと一緒に探りながら、いろんなトライをすることでどんどん進歩していることを自分で感じ取っています。

これからは、活躍することでもっと自身のキャラクターを出していきたいという思いがあります。でもまだまだ。まずはQ1、Q2と突破し、Q3でアタックすること。そしてレースではトップ10入りを果たし、その先は表彰台を狙っていきたくと思っています。



### 観戦中の情報収集は

#### レースの状況を把握するなら…… 公式アプリ

順位、ラップタイム、セクタータイム、位置情報などがひと目でわかる無料アプリ。場内放送も聞けて非常に便利!

<http://superformula.racelive.jp/>



#### リザルトやコメントを見るなら…… 公式サイト

走行結果やインタビュー、その他リリースなど。随時最新情報を掲載!  
<https://superformula.net/sf2>

リアルタイムな情報収集には……

#### Twitter

SUPER FORMULA公式アカウント

@super\_formula

TOYOTA GAZOO Racing

@toyota\_gr

HondaモータースポーツLive

@hondajp\_live

公式ハッシュタグは「#sfformula」

記事やダイジェスト動画は……

#### Facebook

スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook

<https://www.facebook.com/superformula.official>

#### YouTube

YouTube公式チャンネル

<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>



お求めは  
場内売店か  
公式サイトへ!

#### SUPER FORMULA OFFICIAL SHOP

#### 全日本スーパーフォーミュラ選手権 2017総集編DVD発売中!

世界が注目するドライバー達が集結。国内トップフォーミュラ激動の1年間を振り返る決定版! 2017年シリーズ全7戦のダイジェスト(レース中継+オンボード映像+インタビュー)を収録。

価格:5,400円(税込)

#### 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 公式プログラム販売中

西ゲート、総合案内所、総合案内所前チケットブース、WEC富士PRブース、レストラン「ORIZURU」で販売しています。

価格:1,000円(税込)



#### オフィシャルファンクラブ CLUB F 新規会員受付中!

豪華入会特典やチケット販売など、ファンクラブならではのサービスを予定! 詳しくはオフィシャルサイト(<https://superformula.net/sf2>)内のファンクラブページをご覧ください

## チーム探訪 ここがうちの自慢です!

### その4 | JMS P.MU/CERUMO・INGING

歴代チャンピオン二人が3年連続の王座獲得を狙うJMS P.MU/CERUMO・INGING。コースの上ではチームメイト同士が激しい攻防戦を繰り広げるが、チームはスタッフみんなの仲がいいことで知られる。

スタッフの一体感を高めるのに欠かせないチームウェア。またその足元を支えるワーキングシューズも速やかな作業をサポートする重要なツールだ。アシスタントマネージャーの青木朋子さんによると、これらはチームのオフィシャルスポンサーであるアシックスジャパンからの提供という(①)。「3年前からサポートしていただいているが、メカニックが広告塔になってフライヤーやウェブサイトにも登場していることが自慢」なのだとか(②)。「メカニックがポーズをとって撮影することもあります。写真が載ると「俺が広告に出ている!」と喜んでいますし、加えて現場で着用するウェアなども揃えてもらっているのが大変助かっています」と大歓迎する。「黒×オレンジのシューズはインギングモデルとして市販されており、人気が高いモデルと聞いています。番組の進行役は本田朋子アナ。ナレーターは今年で番組3年目となる乃木坂46の樋口日奈が担当します。

ともなくとてもラクです」と青木さんもお気に入り。

一方、ホスピタリティファーストの中には自慢がふたつ。「飲み物の提供をサントリービバレッジサービスさんからスポンサーしていただいています(③)。フォーミュラ・ニッポン時代の2006年・07年に「BOSS・INGING」として参戦していたこともあります。提供していただく飲み物は種類が多く、最新のものを揃えてもらっています。また、「本格派コーヒーを召し上がっていただきたいので、コーヒーマシンを導入しています。エスプレッソやカプチーノもできますよ!」とおもてなしにも気を配っている様子。ちなみに浜島裕英総監督のお好みはエスプレッソダブルだそうで、さすがスクーデリア・フェラーリ仕込み(?!)

です(浜島総監督は以前F1のフェラーリチームに所属。スクーデリア・フェラーリはそのチーム名)。

また「おみえになったお客様が、飲み物を手に読んでいただけたらと思って」と見せてくれたのが、チームオリジナルのタブロイド紙(④)。「スポンサーであるサイバーネットさんのご協力で制作しています。基本的に前戦のレポートをメインに写真も多く掲載し、



お客様にチームの最新情報をお伝えしています。初めてサーキットに来られた方にわかりやすく、という思いを込めてご用意しています」とのことだ。

そして忘れてはならないのが、2012年から活躍するマスコットキャラクター、山口美羽ちゃん(①)。「地上最速の萌えキャラ」と言われています。チームにはいつもこの子がいるというイメージがもうすっかり定着していることも自慢ですね。



## TV放映/映像配信

### BSフジ 決勝戦生中継

#### 「2018スーパーフォーミュラ第4戦富士」

ピエール北川による場内実況がサーキットの臨場感をそのまま伝え、ピットの緊迫した状況をレーシングドライバー 松田次生と、東(ひがし)美樹がピットからレポートします。第4戦の解説には脇坂寿一を迎え、レースを鋭くまたわかりやすく解説をします。

○放送時間: 7月8日(日) 午後2時00分~3時55分



### BSフジ

#### 「スーパーフォーミュラ GO ON!!」

今シーズンから、「スーパーフォーミュラ」の情報を完全網羅する番組としてリニューアル。SF14ラストイヤー、全戦2スベックタイヤ制など話題が豊富な2018シーズン。そのレースダイジェストをレギュラーコメンテーターの小林可夢偉と解説の松田次生が徹底分析。また、ゲストコメンテーターとして登場する現役ドライバーやチーム関係者、レース好きの著名人などと共にホットなニュースを深堀りする。番組の進行役は本田朋子アナ。ナレーターは今年で番組3年目となる乃木坂46の樋口日奈が担当します。

○放送時間: 8月4日(土) 午後11時~11時55分

8月12日(日) 午前2時~2時55分(再)



### J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。

○放送時間: 7月7日(土) 午後2時20分~予選生中継 7月8日(日) 午後1時45分~決勝生中継



J SPORTS 4

J SPORTS 4

### GYAO!

大会終了14日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>



## TIME SCHEDULE タイムスケジュール

RACE	レース
<b>7月7日(土)</b>	
8:05- 8:20	KART 公式予選
8:30- 9:00	F3 公式予選
9:10-10:10	SUPER FORMULA フリー走行
10:25-10:55	PGT3 専有走行
11:05-11:45	ピットウォーク/S660/パレードラン
12:17-	KART 決勝(7Laps)
13:30-	F3 第5戦 決勝(15Laps)
14:30-14:50	SUPER FORMULA 公式予選(Q1)
15:00-15:07	SUPER FORMULA 公式予選(Q2)
15:17-15:24	SUPER FORMULA 公式予選(Q3)
15:40-16:00	N-ONE 公式予選
16:10-16:30	PGT3 公式予選
16:45-17:15	キッズピットウォーク
<b>7月8日(日)</b>	
8:15-	PGT3 決勝(10Laps)
9:00- 9:30	SUPER FORMULA フリー走行
9:30- 9:40	SUPER FORMULA スタート練習
10:15-	F3 第6戦 決勝(21Laps)
11:20-12:00	ピットウォーク/SF19デモンストレーションラン
12:35-	N-ONE 決勝(7Laps)
14:15-	SUPER FORMULA 決勝(55Laps)
16:25-	PGT3 決勝(10Laps)
17:15-17:55	CB(2輪)パレードラン

EVENT	イベント
<b>7月7日(土)</b>	
7:45- 8:00	オープニングステージ MC:水村リア
8:20- 8:35	富士スピードウェイイメージガール クレイنز PRステージ ゲスト:クレインズ MC:水村リア
10:40-11:00	SF予選直前トークショー ゲスト:松田次生、東美樹 MC:水村リア
11:15-11:30	SFピギナーズトーク ゲスト:東美樹 MC:水村リア
12:20-12:40	SFドライバートーク ゲスト:ダニエル・ティクトゥム選手、平川亮選手 MC:水村リア
14:00-14:30	レースクイーンステージ MC:水村リア
16:30-17:00	テクノロジーラボラトリー 両角岳彦、浅見理美、スペシャルゲスト
<b>7月8日(日)</b>	
7:45- 8:00	オープニングステージ MC:水村リア
8:20- 8:35	富士スピードウェイイメージガール クレイنز PRステージ ゲスト:クレインズ MC:水村リア
9:00- 9:30	レースクイーンステージ MC:水村リア
10:30-10:45	SFピギナーズトーク ゲスト:東美樹、YOKOHAMA promotional models 近藤みき、嶋村なか MC:水村リア
10:50-11:05	SFポールポジションドライバートーク ゲスト:ポールポジション獲得ドライバー MC:水村リア
11:30-11:55	「Legend Racing Drivers Club」トークショー ゲスト:関谷正徳、野田英樹 MC:高橋二期
12:20-12:35	SF決勝直前トークショー ゲスト:松田次生 MC:水村リア
16:00-16:30	テクノロジーラボラトリー ゲスト:優勝エンジニア 両角岳彦、浅見理美
16:45-17:00	SF優勝ドライバートーク ゲスト:優勝ドライバー MC:ピエール北川、松田次生

\*スケジュール、内容、出演者等は予告なく変更、中止になる場合があります。